

事業名称	歴史文化遺産の社会資源化事業		
実行委員会	鈴鹿山麓混成博物館		
中核館	多賀町立博物館		
	住所	〒522-0314 滋賀県犬上郡多賀町四手 976-2	
	TEL	0749 - 48 - 2077	FAX 0749 - 48 - 8055
	ホームページ	<a href="http://www/.town.taga.lg.jp/akebono/museum/">http://www/.town.taga.lg.jp/akebono/museum/</a>	
構成団体	<p>愛荘町立歴史文化博物館、東近江市博物館（能登川博物館・近江商人博物館・中路融人記念館・西堀榮三郎記念探検の殿堂の4館集合）、一般社団法人東近江市観光協会、一般社団法人近江八幡観光物産協会、竜王町観光協会、一般社団法人愛荘町愛知川観光協会、一般社団法人愛荘町秦荘観光協会、一般社団法人多賀観光協会、琵琶湖汽船株式会社、滋賀第一交通株式会社</p>		
事業開始時点の課題分析	<p>博物館は、地域の文化を保護するだけでなく、これを積極的に社会に向けて発信し、その地域の総合的な向上に寄与するために設置された機関である。しかし、現状では個々の博物館の運営が目的化し、本来博物館に求められる機能が十分に発揮できているとは言い難い。</p> <p>一方、歴史文化遺産を取り巻く状況も大きく変化している。これまでこの保護と継承は地域と公的な支援によってなされていたが、この仕組みも岐路に立たされつつある。今後は、その歴史文化遺産を保有する地域の力がより重きをなすことになるが、そのためには、その歴史文化遺産が「財」を生み出し、これにより自らを保護し継承する仕組み造りが求められる。しかし、現状ではこの歴史文化遺産を財に育てる取り組みは希薄である。特に、歴史文化遺産は単独で成立してきたものではなく、様々な要素が重層し関連しあいながら形成されてきた。歴史文化遺産を財とするためには、この点を抜きにはなしえない。即ち、文化的なまとまりのあるエリアの文化の中核を担う博物館同士が連携し、さらにこれを活用するために設立された機関が加わり、歴史文化遺産を文化財とするための広範な取り組みが求められる。</p>		
事業目的	<p>本事業が対象とする地域は、鈴鹿山脈に源を持つ日野川、愛知川、宇曾川、犬上川、芹川そして八風街道を縦糸に、中山道、御代参街道、名神高速道路、グリーンロード（国道 307）を横糸に様々な文化を織りなして来た、文化的にまとまりの強い地域である。本事業の目的は、この地域に所在する公立博物館が連携し、核となり、ここに文化財を資源として発信し活用する各地域の観光協会、観光関係企業が加わり、各々の強みを織り交ぜながら、歴史文化遺産を「文化財」として育て、そしてこれが地域経済の発展の基礎となることを目指す。</p> <p>事業は、このエリアに所在する多様な歴史文化遺産をテーマにより集成し、これを物語化して発信し資源化を図る。資源化の視点は、地域外からの経済波及を前提とした観光による資源化を前提とし、発信素材の整備、発信媒体の整備、発信人材の育成、発信モデルの構築をこの事業を活用し実施する。</p> <p>将来的には、この湖東発のムーブメントを、琵琶湖を中心とした文化的なつながりを持つ県下全域に広げる。</p>		

事業概要

本事業は次の事業により構成する。

事業の柱 磨き・発信する 〈磨き発信〉

対象とする地域に所在する文化遺産群のテーマを設定し、これに基づき再編し、この価値を顕在化させ、これを博物館展示、観光ツアーの実施として発信する。

1 テーマごとの歴史文化遺産群の観光の視点からの価値魅力の顕在化 〈顕在化〉

事業域内に所在する特徴ある歴史文化遺産を、テーマを設定してとりあげ、この顕在化を図る。

全体計画として次の5のテーマを想定する。

- i 神と仏の交わり：神仏習合の文化
- ii 日本武尊と大蛇の葛藤：湖東平野の水利の変遷
- iii 聖徳太子伝説を追う：湖東の寺院開基の深層
- iv 寺院とその城：宗教都市としての天台系寺院
- v 渡来人と湖東の文化：渡来人による開発

①テーマを観光資源として発信する媒体の作成 〈媒体制作〉

取り上げた歴史文化遺産を観光資源として位置づけ、これを観光のガイドとして使える媒体に編集し、発信する。媒体は紙媒体と電子媒体とし、電子媒体に関しては共通のHPを立ち上げ、ここから発信する。(各年1テーマを対象とする)

②テーマに基づく3館連携企画展の開催(各年1テーマとするが、初年度は展示に要する準備期間を設定することができないため、連携展示は2年次より開催する)〈連携展〉

連携する博物館が共通するテーマに関する企画展をほぼ同じ時期に開催する。(2年次以降)

③テーマに基づく3館連携フォーラムの開催(各年1テーマ)〈連携フォーラム〉

合同企画展で取り上げたテーマの魅力をわかりやすく発信するためのフォーラムを、実行委員会が主催し実施する。会場はこの地域への誘客を図るため、初年度は大津市内で実施するが、次年度以降、県の観光機関とも調整し、首都圏での開催を目指す。

2 ヘリテージコンシェルジュの養成〈人材育成〉

設定したテーマを観光資源として定着させるため、この価値と魅力を発信するための人材を育成する。

対象は、従来の観光ボランティアだけではなく、旅行企画者、宿泊・運輸などの観光事業に従事する者、行政における文化財、観光を取り扱う職員、各観光協会職員等、ヘリテージ観光に対するより高度な要望が寄せられる可能性の高い者を主な対象とする。育成に当たっては、各博物館の学芸員が中心となり、必要に応じて外部から講師を招聘する。

<p>実施項目 ・ 実施体系</p>	<p>(1) 地域文化の発信の核となる美術館・歴史博物館</p> <p>■ア 美術館・歴史博物館の情報発信、相互連携</p> <p>□イ ユニークベニューの促進</p> <p>□ウ 地域のグローバル化拠点としての美術館・歴史博物館</p> <p>■エ 地域に存する文化財を活用した地域共働の創造活動や地域の魅力の発掘・発信</p> <p>(2) あらゆる者が参加できるプログラム及び学校教育や地域の文化施設等との連携によるアウトリーチ活動</p> <p>□ア 小・中・高等学校と連携した地域文化の担い手の育成</p> <p>□イ 大学等と連携した国内外で活躍する文化人材育成プログラムの開発</p> <p>□ウ 社会人ほか多様な対象者のための学習講座の実施</p> <p>□エ 障がい者の芸術活動支援・鑑賞活動支援等の事業</p> <p>(3) 新たな機能を創造する美術館・歴史博物館</p> <p>■ア 観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等他分野との連携・融合による活動</p> <p>□イ 文化財の新たな保存管理・活用の手法の開発</p>
<p>実施後の 成果・効果等</p>	<p>[成果]</p> <p>歴史文化遺産を特に観光の視点から活用することにより、財を生み出す社会資源化の足がかりとすることができた。</p> <p>[効果]</p> <p>歴史文化遺産が社会を維持するうえで必要不可欠なものであるという価値観を向上させ、この力により歴史文化遺産を後世に継承する意識を向上させることができた。</p> <p>歴史文化遺産が地域経済の発展の基礎となるという認識を高め、公開活用の機運が一層高まることが期待できた。</p> <p>歴史文化遺産の価値と魅力を発信できる人材の養成を行うことにより、高品位な観光の創出と定着が期待できた。</p>

**【事業実績】**

1 歴史文化遺産群の観光の視点からの価値魅力の顕在化

① テーマを観光資源として発信する媒体の制作(紙) 5,000部作成

【成果・効果】ヘリテージツアーの参加者へ配布し、歴史文化遺産への理解がより深まった。

・テーマを観光資源として発信する媒体の制作(電子)

合同HPの開設(URL://suzuka-sanroku.com/)

【成果・効果】ホームページを開設することにより、広い情報発信が可能となった。

③テーマに基づく連携フォーラムの開催 1回、参加者数195人

【成果・効果】アンケート結果から今回設定したテーマ(神仏習合)に理解、関心が深まり、観光客誘致への可能性が高まった。

<アンケート結果>回答者数 103 人(回答率 53%)

・わかりやすい内容でしたか? はい 88 人(85%)

・講演を聞いて足を運んでみたくなった場所があったか? はい 81 人(79%)

・参加者の声(アンケートより)・・・大変研究的でよかった。討論会がよかった。今回のフォーラムをもっと PR

し、滋賀の文化を広めてください。また続けて開催してほしい。面白く楽しい話が多くよかった。近江に引っ越してきて正解、楽しみです。今後もこのようなフォーラムを開催してほしい。

#### ④ヘリテージツアーの開催 2回、参加者数36人

**【成果・効果】**観光客と接し、地元の食材を使用した料理を提供することで、地域の人たちが自分たちの歴史文化遺産の価値について再認識することができた。歴史文化遺産が財を生み出す社会資源となる可能性を確認できた。

・参加者の声(アンケートより)・・・近江について深く知ることができた。食事がおいしい。地元食材を楽しめた。個人ではなかなか行けないところに行けた。

## 2 ヘリテージコンシェルジュの養成

ガイド養成講座の開催 5回、参加者数13人

**【成果・効果】** アンケート結果から地域の歴史文化遺産に理解が深まり、より高度なガイドの可能性が高まった。

<アンケート結果>回答者数 11 人(回答率 85%)

- ・受講の理由 現在ボランティアガイドをしており、知識の向上のため7人(63%)
- ・内容について 大変よかった7人(64%)、ちょうどよかった3人(27%)
- ・また次回も受講したいですか 受講したい8人(73%)、内容により受講したい2人(18%)
- ・参加者の声(アンケートより)・・・とてもわかりやすくよかった。今後ガイドするにあたり参考にさせていただきたい。新しいことを知れてよかった。ガイドの役割等よくわかった。